

最優秀賞(国土交通大臣賞)

鹿児島県鹿児島市立伊敷小学校
6年 南 伶奈さん



くらしを脅かす
土砂災害が
毎年発生しています!

みんなであつて防ごう土砂災害

最優秀賞(国土交通大臣賞)

千葉県香取市立佐原中学校
1年 久保木千尋さん



土砂災害から身を守る3つのポイント
あなたも危険な場所にお住まいかも



土砂災害防止月間

がけ崩れ防災週間 6/1→7

6/1→30

主催 国土交通省・都道府県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会

土砂災害



避難対策万全に!



走れ

命を
守れ
土砂災害から



命の危険に 備えよう!!!

レベル3

レベル2

レベル1



土石災害について

正しい知識を学ぼう



川の水がにごる

亀裂が走る

地鳴りがする





土砂災害を自分事ととらえること

神山中学校一年 なかみなみ れい 中南 礼

「線状降水帯が発生、警戒レベル5の緊急安全確保が出されました！こちらの地域では、すでに災害が発生しているか、発生する危険があります。直ちに安全な場所で命を守る行動をとってください！」

毎年、テレビニュースでこのようにアナウンサーが呼びかけているのを耳にします。

土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりなどがあります。土砂災害の原因には、梅雨の長雨や台風、地震など日本は特に傾斜が急な山が多いため、災害が発生しやすい国土環境にあるようです。土砂災害の発生件数も、年間千五百件ほど発生しており、ほとんどの都道府県で土砂災害が発生しています。特に注意しなければならないのが、線状降水帯による異常な集中豪雨で、突然発生し、バケツをひっくり返したような雨が狭い地域に集中して長時間降り続きます。今年も七月に山形県酒田市で集中豪雨による土石流が発生した映像をみて、突然家が流される恐怖を目の当たりにしました。過去には、西日本豪雨、九州豪雨などで多くの地域に大変な被害をもたらした原因が、これだとされています。

ぼくが住む徳島県神山町は、吉野川の支流鮎喰川の上流域にある町で全面積の約八三％が山地であり、その中央を鮎喰川が流れるとても美しい町です。山が見せてくれる四季の景色がぼくは大好きです。家は幹線道路から少し上った山の集落にあります。山の斜面に家が点在し、その中心を鮎喰川につながる谷川が流れ、棚田がとてもきれいな集落です。

ぼくは毎年夏になると、谷川の上流の決まったところで川遊びをします。そこは砂防ダムがあり、過去に川の上流から流されてきた土砂を食い止め、集落を守ってくれた跡が残っています。父が子どもの頃は、砂防ダムの壁も高く残っていたそうですが、今はダムの上すれすれまで大きな石や砂利でいっぱいになっています。

ぼくは、町から配布された土砂災害ハザードマップを初めて見て、とても驚いたことを今でも覚えています。なぜかというと、町のほとんどがハザードマップの土砂災害警戒区域や危険区域に染められていたからです。そして、ぼくの家や集落も赤く染められた崩落警戒区域などの中に入っていました。ぼくが毎日歩く通学路にも危険な場所が多くあることを兄から教えてもらい、大雨やその後の登下校時は、山の斜面のそばを通るときに注意しながら歩くよう言われてきました。今のところ大きな土砂災害はありませんが、大雨が降るたびにきれいなはずの谷川が濁り、樹木が流れて

いるのを見ると、とても怖くなります。実は、町のなかでも土砂崩れが起き、国道が通行止めになり、集落が孤立することがほぼ毎年あるということを家族から聞きました。土砂災害は他人事ではないと考えさせられました。

大規模災害が増えたことで、テレビや携帯電話ではすぐにアラートが流れるようになり、令和三年六月からは、「顕著な大雨に関する情報」として線状降水帯発生情報が発表されることになりましたが、今年五月からは、さらに発生の可能性が高いと予測された半日以上前に、地域をしほり警戒情報を流すようになったそうです。半日後に、線状降水帯が発生すると予測することで、実際に発生するしないではなく、準備する時間ができたのではないのでしょうか。テレビでも被害にあった人が、「逃げようと思ったけど間に合わなかった。」と話していることがよくあります。過去には、線状降水帯発生情報から三十分もたたずに河川が氾濫、約五分後に土砂崩れが発生したケースもあったようです。ぼくも同じですが、きっと「まさか自分のところで起きるとは」と自分のことを考えることができなかったのも避難が遅れてしまったのではないかと思います。

ぼくの暮らす地域は、土砂災害の警戒区域だけではなく、南海トラフ巨大地震発生予測地域でもあります。もし、集中豪雨と巨大地震が重なったらと考えるだけで、恐ろしくなります。ぼくは、町からの広報誌やハザードマップを確認し、土砂災害が起きたときなどについて家族で話し合うことをしています。例えば、地域の避難所の場所を確認したり、登下校中に土砂崩れが起きたらどこに行くかなどを決めたりしています。

まずは、自分の住む地域のことを知ることが重要です。そして、自分だけでなく家族や地域の大切な人たちの命を守るために何ができるのか考えないといけません。

ぼくは、あのテレビから聞こえるアラートを聞くたびに、「じぶんごと」として考え、災害への備えを確認します。そして、山地災害を防いだり、被害を少なくしたりするために中学生としてできることをしっかりと考えていきます。

砂防ダムを通じて

那賀川中学校一年 やまもと きょう 山本 京

「この地域にも砂防ダムが建設される予定です。」小学校での土砂災害防止教室で講師の先生が教えてくださいました。私の地域ではあまり土砂災害での被害や、実際に土砂災害がおこったなどあまり聞いたことがなかったのなぜ砂防ダムを作るのか疑問でした。砂防ダムとは、上流から流れてくる土砂をせき止めたり、土砂の流出を防止するためのダムです。このダムがあるということは土砂災害の危険性が高いんだろと思い、どのくらいおきやすいのか調べてみることにしました。砂防ダムがある場所は土砂災害警戒区域に指定されており、イエローゾーンやレッドゾーンが密集していました。この場所に砂防ダムがあることで周辺に住んでいる人たちもちょっと安心できるなと思いました。でも、いざという時はいつ来るかわからないのでその時のためにちゃんと準備しておかないといけないなと思いました。

私は土砂災害警戒区域を調べてみてすごく怖いなと思ったことがあります。私の家はギリギリ土砂災害警戒区域には入っていませんでしたが、よく友達と遊んでいる防災公園がイエローゾーンに入っていました。この公園は土日は地域の子どもたちが遊び場所として利用しているし、平日も子どもセンターの子や放課後遊ぶ小学生たちでにぎわっています。私もよく行く場所で、雨の降った次の日などに遊んだりすることもあるので気をつけたいと思います。また、この公園は防災公園なので災害時での避難場所ともなります。多数の町人がここへ避難してきます。地震がおきて土砂災害がおこったらこの防災公園には避難できなくなります。なので、離れた所の避難場所に避難しなければならなくなります。そうなると高齢者、小さな子ども、足が不自由な人などは避難するのに時間がかかってしまいます。私の町の津波到達時間は十九分だと言われています。そんな短時間で避難ができるでしょうか。土砂災害がおこった時の被害を考える時はそんな所まで考えていかなくてはいけないなと思いました。

私は砂防ダムを通じて、土砂災害のこと、また、土砂災害がおこった後のことまで考えることができたと思います。私もですが、私の家族はあまり土砂災害のことについて知りません。まずは、私が土砂災害のことについてもっと調べ、もっと知ってたくさん知識を増やして、それから得た知識を家族、ご近所さん、そして地域の方々に広めていきたいです。私は小学校の時に、地域の防災リーダーになれるように、と防災の学習を行ってきました。その言葉のとおり、中学生でも地域のリーダーになれるように、

もっと土砂災害や他の自然災害についても学び、その学びをむだにしないようにしたいです。私の目標は、今年中に防災士の資格をとることです。今は部活とかでなかなか自然災害のことなどを勉強するひまがありませんけど、高校や大学、とくに大学に行ったら、防災について深く学んでいきたいです。

さい害から身を守るために

箸蔵小学校四年 おき さ や こ
沖 紗也子

今年、日本のあちこちで大きな地しんが何回もおこりました。私たちの住んでいる三好市では大きな地しんはおきていませんが八月八日に宮崎県でおきた地しんのえいきょうで南海トラフ地しんりん時じょうほうが発表されました。私は今までに大きな地しんはけいけんしたことはありません。でも、お母さんやお父さんは、はんしんあわじの大地しんをけいけんしています。

台風の大雨で、道がくずれたり、川や谷がぞう水するなどしてひ害がおこることがあります。テレビで地しんひ害の放送を見ていると土しゃさい害がおきて家や道が大変なことになっていました。

私は、土しゃさい害は大雨がふった時にしかおこらないと思っていたけど大きな地しんがおこると、大雨の時よりもひ害が大きいことを知りました。

私の住んでいるはしくら地区に住んでいる人の多くは、四国中央橋や新しいのはなトンネルを通して仕事や買い物に行っています。大地しんがおきたら橋やトンネルが、こわれていないか安全をかくにんしてからでないと通れません。家でも地しんがおきた時のために防災リュックを用意してさい害にそなえているけどヘルメットや非常用の食べ物はその中にありませんでした。私はお姉ちゃんといっしょになってお父さんに、「きちんと用意しておいてよ」と言いました。お父さんは、「わかったよ。でもリュック1つでは家族全員分は入りきらないので2つになってしまうよ」と言いました。非常用の食べ物は3日分くらい必要と言っていました。

もし大地しんや大雨で土しゃさい害がおきて、ひなん所で生活することになったら今まで家でできていたことが自由にできなくなります。防災リュックも地いきの人みんなが用意しているかわからないので食べる物に困るかもしれません。さい害がおきたら自分が一番先に助けてもらいたいという気持ちになると思います。でも、そういう気持ちは全員がもっているはずなので、みんなで助けあいたいと思います。さい害はいつおこるかわからないので常にテレビなどで天気をかくにんしたりして防災のそなえをしておきたいと思います。そうして、だれ1人もひ害にあわないようにして毎日をくらしていきたいです。

土砂災害の勉強をして

由岐小学校六年 はま だ みずき 浜田 瑞生

小学校で土砂災害の授業をしてくださいました。も型で土砂災害が起こった様子や起こりそうな場所も教えてくださいました。VRでは映像を見せてもらって、土砂災害が起きたらどうなるかというのを体験させてもらいました。その後で、ハザードマップを使って自分の住んでいる町や家は、どんな危険があるかを確認しました。自分達の住んでいる町で土砂災害が起きたと想定して、どのように避難すればいいかを班に分かれてシミュレーションもしました。

この勉強をしてぼくがおどろいたことは、土砂災害が起きそうな場所がぼくの住んでいる町にもたくさんあるということです。考えてみれば、大雨が降った後などに山から水がすごい勢いで流れているのを何度も見たことがあります。中学校のすぐ上の山なので、とてもこわいなあとその時に思いました。お母さんは、大雨で山の斜面がけずられて道に土砂が少し流れているのを見たことがあると言っていました。その道はぼくの家のおすぐ近くだし、ぼくもよく通るところです。今までは少しの被害ですんでいたところも、次は大きな被害になるかもしれないし、それがいつなのかはわかりません。だから、自分達で危機感を持つことが大切だと思います。ぼく達の住んでいる町は、地震が起こったら津波が来る可能性が高いところなので地震の避難訓練はいつもしているけど、土砂災害の避難訓練はしていません。だから、すぐに行動できないかもしれないので、どこに避難すればいいのか考えておかないといけないと思います。ついこの前も、えひめ県で土砂災害が起こったとニュースで見ました。テレビやスマホで避難の警戒レベルもしっかり確認して、今まで大じょう夫だったから今回も大じょう夫とは思わずに、もしかしたらと考えて早めの行動をしていきたいです。

土砂災害

由岐小学校六年 おざき こころ 尾崎 瑚々呂

私は、土砂災害の学習をして日ごろからの備えと土砂災害が起こった時に早めひなんが大切だと分かりました。特に、大雨が降った時や津波が起こった時などが起こりやすいと分かったので気をつけておきたいと思いました。

それに、マップを使ってもし土砂災害が起こった時にどこににげるかを話し合いました。遠いけど安全な道か、近いけど少しきけんな道もあってすごくなやみました。でも私は、近い方を選びました。理由は、大雨とかが起こってから、二時間と言っていたから近い方を言っても全然安全だと思ったからです。けど、二時間もあるから遠い方でもいいし、その方がより安全だと話しを聞いていて思いました。だから、その時の情報や状況で判断したいです。

私は、土砂災害の勉強をしてもっと知りたいなと思ったので調べたり聞いたりしました。そしたら、土砂災害が起こる時にはサインがあることが分かりました。それは、地鳴りや山鳴り、石のぶつかり合う音が聞こえたり、雨が降り続けているのに川の水位が下がるなどしたら土砂災害が起きることが分かりました。私の家の後ろはすぐ山であぶないからそんなことがあったら、気をつけたいなと思いました。

私はこんなにいろいろなことが分かったから生活にいかしていきたいです。例えば、ひなんルートで安全な道を家族や近所にいる人に教えてみんなが助かるようにしたいです。それに、災害のサインがあったらみんなに教えたりひなんを呼びかけたいと思いました。日ごろの備えも大切だと言っていたから、ひなんルートを確認したり、防災バッグを作り直したりして備えたいです。この学習で土砂災害の怖さや、それをどう防ぐかがよく分かったので、みんなが助かるように、しっかり教えてもらったことを覚えておきたいです。

令和6年 全国の土砂災害発生状況

○令和6年には、45の都道府県で1,433件の土砂災害が発生し、死者56名、人家被害705戸の被害が生じた。

○統計開始以降（S57～R5）の平均発生件数（1,108件）を上回り、直近10年（H26-R5）の平均発生件数（1,499件）と同程度であった。

○1月に発生した能登半島地震では、全数の9割以上にあたる424件の土砂災害が石川県で発生した。これは、地震による土砂災害で、単一の県で発生した件数として歴代1位となった。

○土砂・流木等を捕捉した報告が45事例あり、これまでの着実な施設整備の効果があらわれている。（各事例については、砂防部HPで公開中 https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/sabo01_tk_000026.html）

土砂災害発生件数

1,433件

〔土石流等： 155件
地すべり： 204件
がけ崩れ：1,074件〕

【被害状況】

人的被害：死者 56名
行方不明者 2名
負傷者 11名
人家被害：全壊 214戸
半壊 174戸
一部損壊 317戸

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県

	都道府県	件数	死者数	過去10年最多 (H26-R5)
1位	石川県	702件	49人	37件 (R5)
2位	静岡県	86件	—	211件 (R4)
3位	神奈川県	65件	—	214件 (R1)
4位	山形県	58件	—	37件 (R2)
5位	島根県	53件	—	57件 (R5)

1/1

土石流等

わじまし いちのせまち
石川県輪島市市ノ瀬町

死者：3名
全壊：8戸

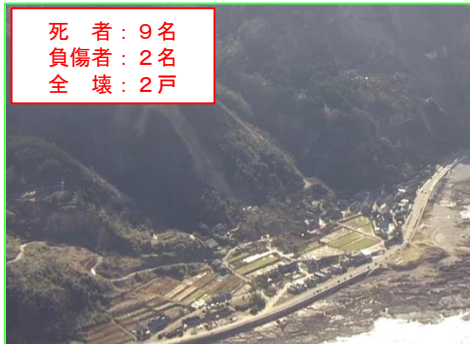


1/1

地すべり

すずし にえまち
石川県珠洲市仁江町

死者：9名
負傷者：2名
全壊：2戸



7/26

土石流等

さかたし きたあおさわ
山形県酒田市北青沢

全壊：4戸
半壊：11戸



9/21

土石流等

わじまし ふてがわまち
石川県輪島市久手川町

死者：4名
全壊：4戸
半壊：6戸
一部損壊：8戸



気象現象別発生件数

能登半島地震：456件
9月20日からの大雨：278件
台風第10号：157件

8/30

がけ崩れ

あつぎし おの
神奈川県厚木市小野

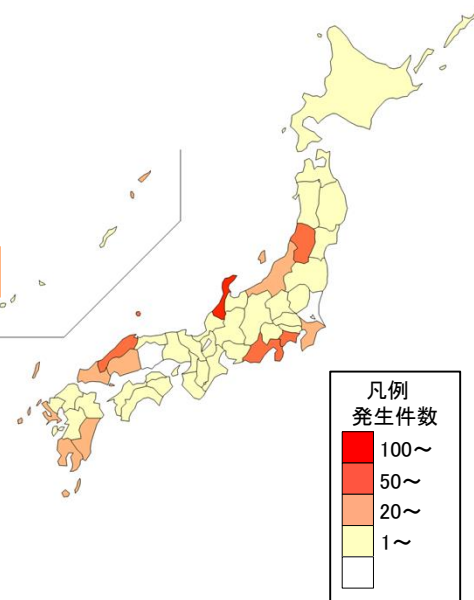
一部損壊：1戸



11/2

うなんし だいとうようかみさせ
島根県雲南市大東町上佐世

一部損壊：1戸



凡例
発生件数

100～
50～
20～
1～

令和6年の土砂災害発生状況

8/29

土石流等

しずおかし あおいしいのお
静岡県静岡市葵区慈悲尾



土砂災害の種類

土石流

大雨などによって、山がくずれ、くずれた土砂が、谷水といっしょになって、高速で流れ下る現象



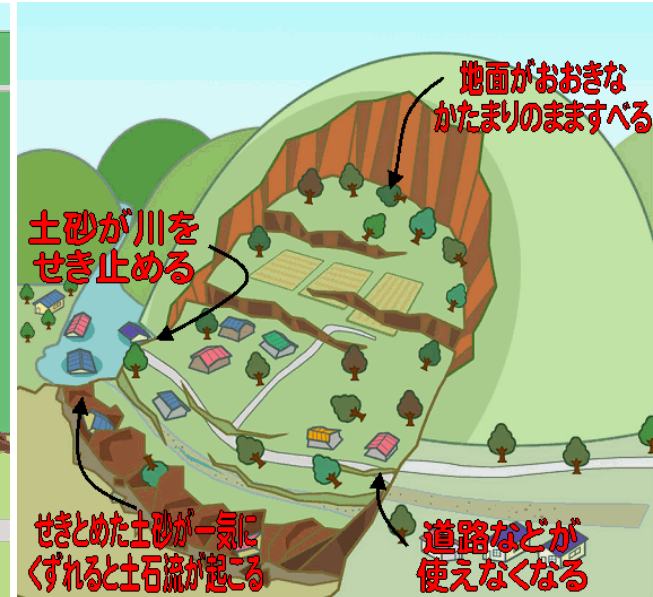
がけくずれ

大雨などによって、急なしゃめんがとつぜんくずれおちる現象



地すべり

大雨などによって、地面が大きなかたまりのまま下に向かってゆつくと動き出す現象



土砂災害の特徴

①ひとたび巻き込まれたら助かることが難しい。

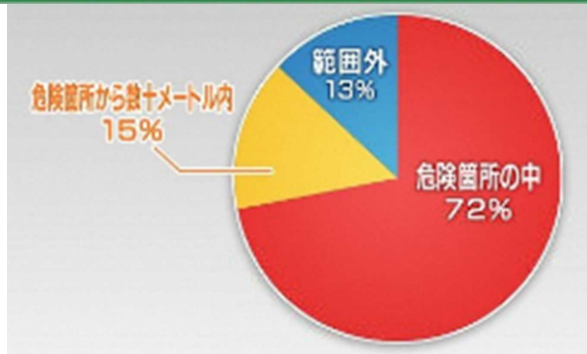
- ・発生の予測が難しい
- ・突発的で一瞬で被災

➡ 「**早めの避難**」が必要

②屋内での被災者が多い。

③土砂災害危険箇所とその近傍で大部分が発生。

土砂災害の犠牲者が発生した場所



**ハザードマップ等で、
危険箇所等の確認を**

日頃の備えと早めの避難

平

自宅の土砂災害リスクを知る
(ハザードマップなど)

①土砂災害警戒区域 ②土砂災害特別警戒区域

ある ↓

時

避難の方法を家族で決める

①避難場所 ②避難経路 ③避難のタイミング



※事前に非常持ち出し品の準備もしておきましょう

大

雨

時

テレビやラジオなどで情報を集める

①大雨や台風、土砂キキクル ②避難情報



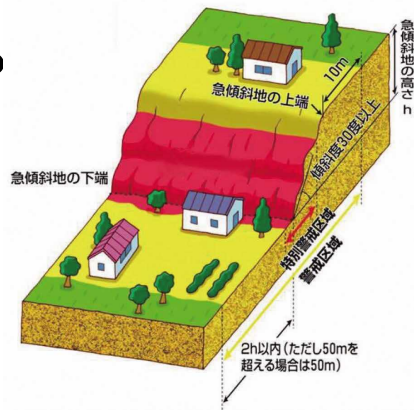
避難のタイミングになったら・・・

家族で早めに避難

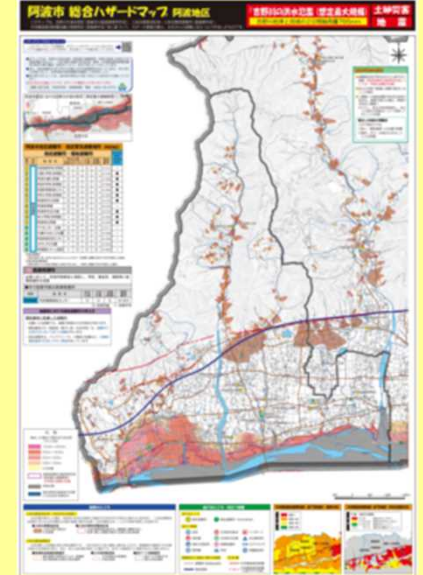
(※)避難のタイミング前でも危険と感じたら避難を開始することが大切

●土砂災害の危険性のある場所か調べる

自宅が土砂災害の危険性のある「土砂災害警戒区域」等に含まれていないか確認しましょう。



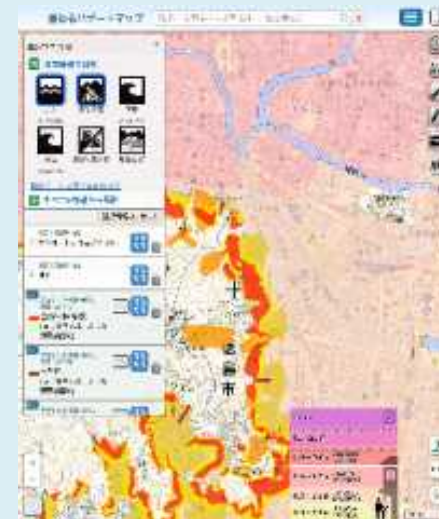
①市町村のハザードマップ



②徳島県水防・砂防情報マップ

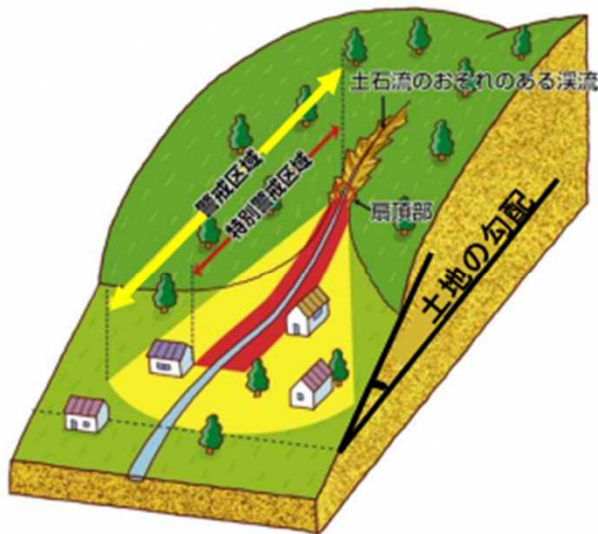


③重ねるハザードマップ



土砂災害警戒区域等の指定の考え方

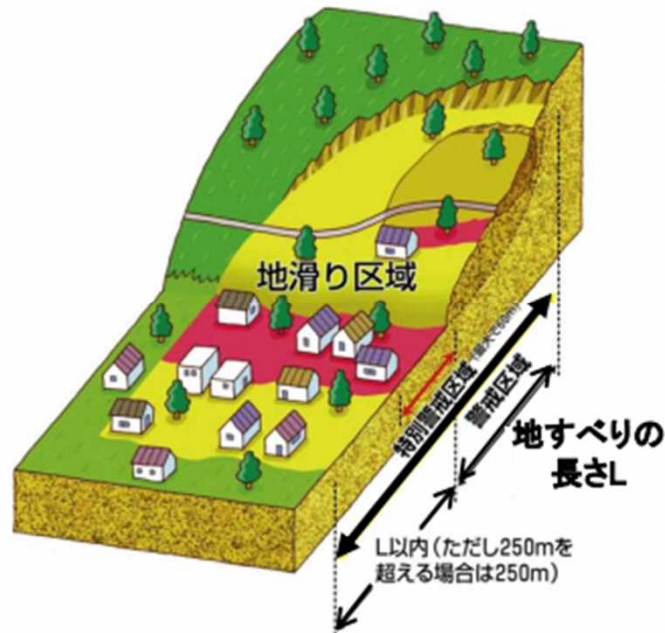
土石流



- ・土地の勾配2度以上

- ・土石流により建築物に作用する力が通常の建築物の耐力を上回る区域

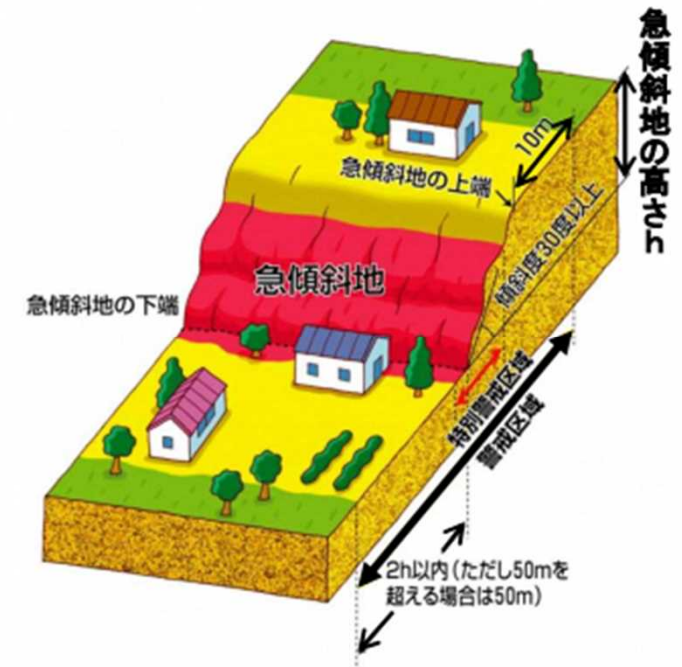
地すべり



- ・地すべりの長さの2倍(最大250m)以内

- ・地すべりに伴う土石等の移動により建築物に作用する力(30分後)が通常の建築物の耐力を上回る等の区域

急傾斜地の崩壊



- ・急傾斜地の上端から10m
- ・急傾斜地の下端から高さの2倍(最大50m)以内

- ・がけ崩れに伴う土石等の移動や堆積により建築物に作用する力が通常の建築物の耐力を上回る区域

●避難方法を家族で話し合う ①避難場所

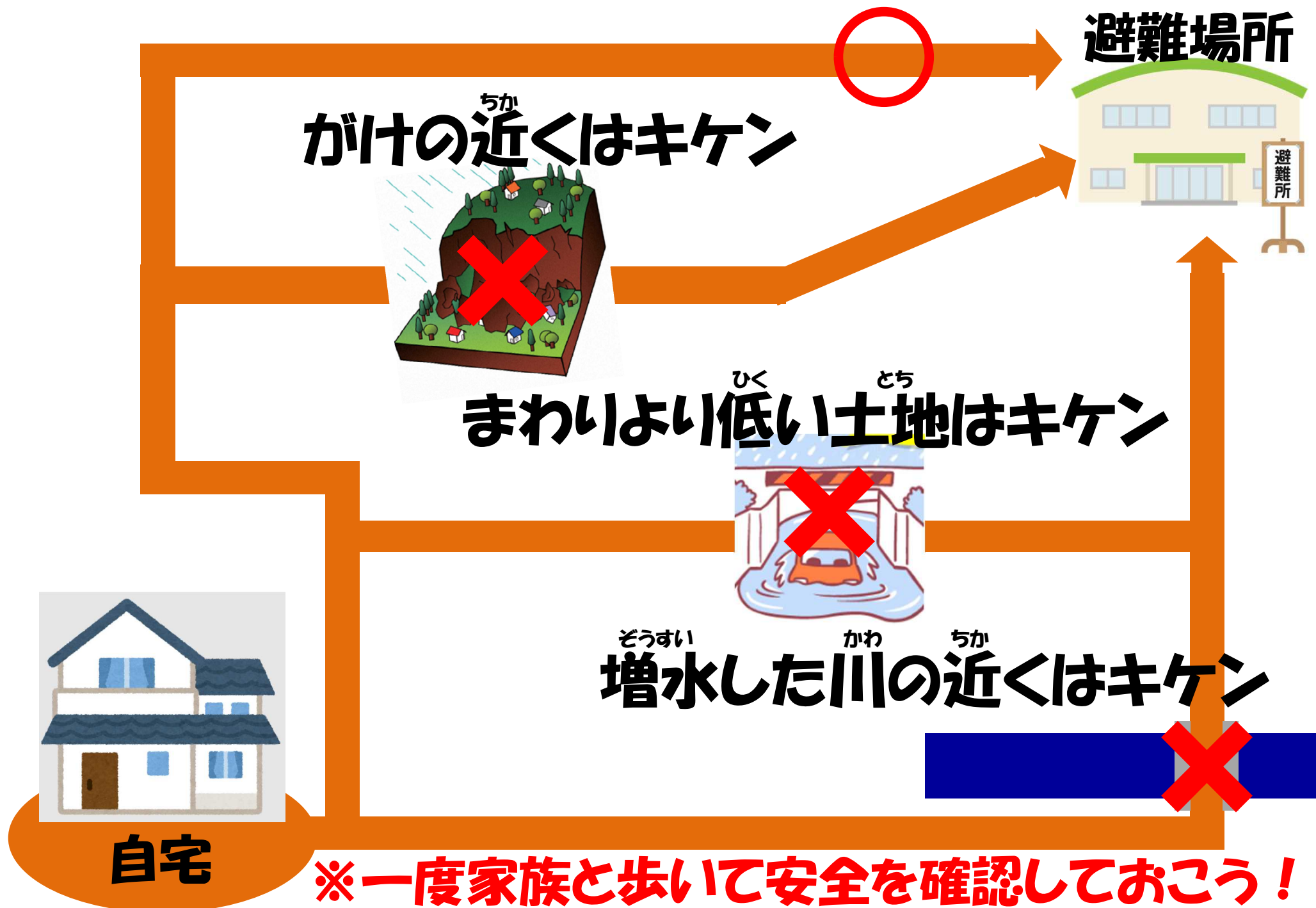
土砂災害警戒区域の外への立ち退き避難が原則



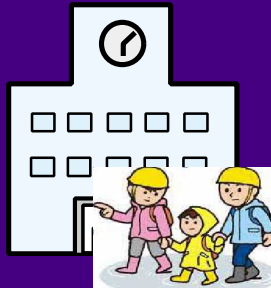
避難場所



●避難方法を家族で話し合う ②避難経路



●避難方法を家族で話し合う ③避難タイミング

警戒 レベル	1	2	3	4	5
雨の ようす	台風発生 	気象状況悪化 	災害のおそれあり 	災害のおそれ高い 	災害発生 又は切迫 
気象情報	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報	大雨警報 (土砂災害)	土砂災害 警戒情報	大雨特別警報 (土砂災害)
避難情報			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
とるべき 行動	情報を集める 	避難準備 	高齢者等は 避難 	全員避難 	命の危険 直ちに安全 確保！

警戒レベル4までに必ず避難！

●避難方法を家族で話し合う ③避難タイミング

ひなんに
時間が
かかる人

☐ 高^{こう}れい^{しゃ}者

☐ 病^{びょう}気^きのある人^{ひと}

☐ 妊^{にん}婦^ぶさん

☐ 介^{かい}助^{じょ}の必要^{ひつよう}な人^{ひと}

☐ 赤^{あか}ちゃんや小^{ちい}さな子^こ供^{ども}

☐ 障^{しょう}が^いいのある人^{ひと}

チェックあり

チェックなし

大雨警報(土砂災害)

警戒レベル3

高齢者等避難



高齢者等は避難

土砂災害警戒情報

警戒レベル4

避難指示



全員避難

レベル4までに
必ず避難

警戒レベル5

緊急安全確保

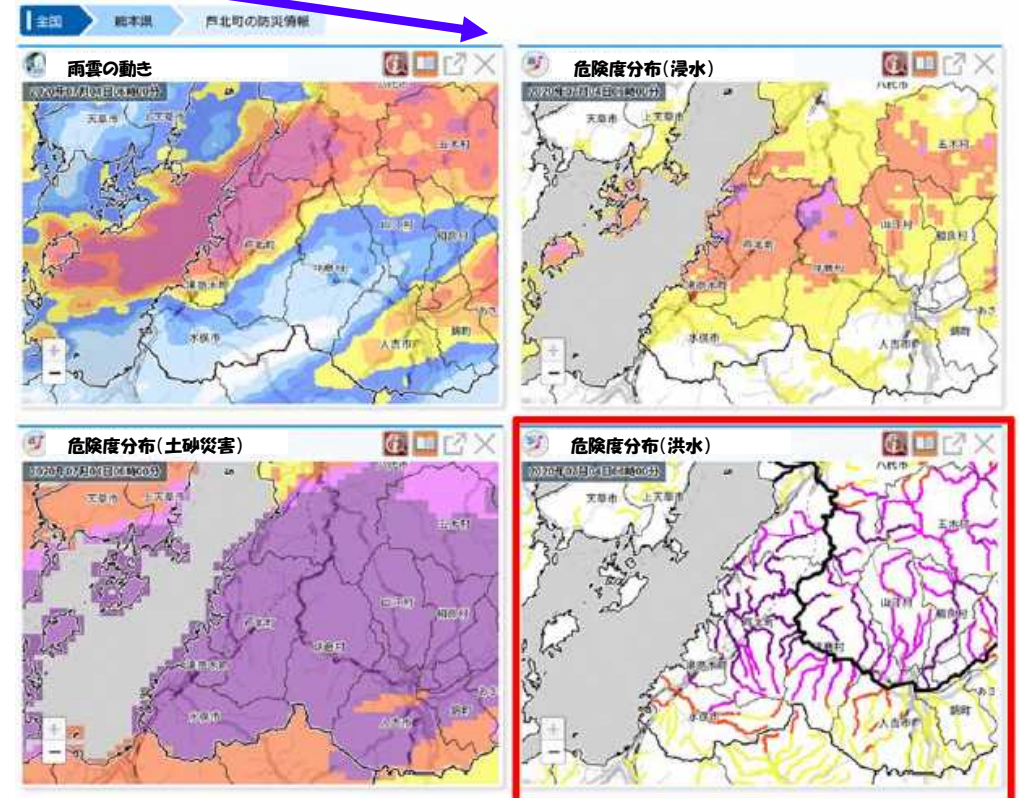
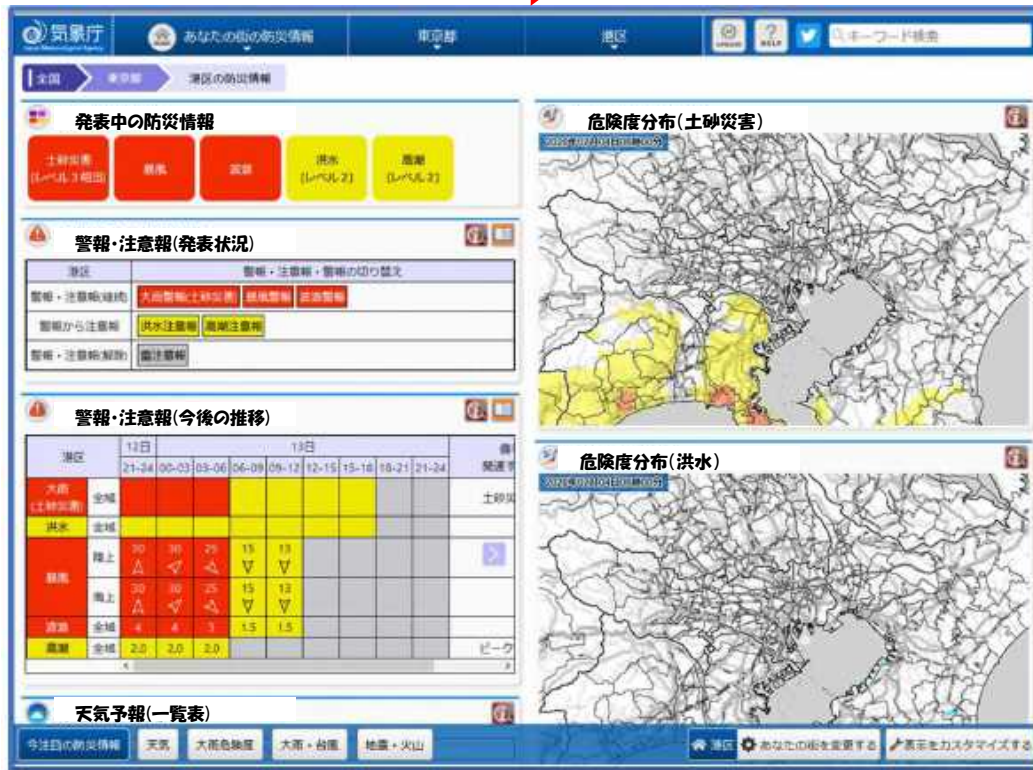


外に出るのは危険なため、
自宅の1番安全な部屋へ移動

避難に役立つ防災気象情報（気象庁）地域の防災情報

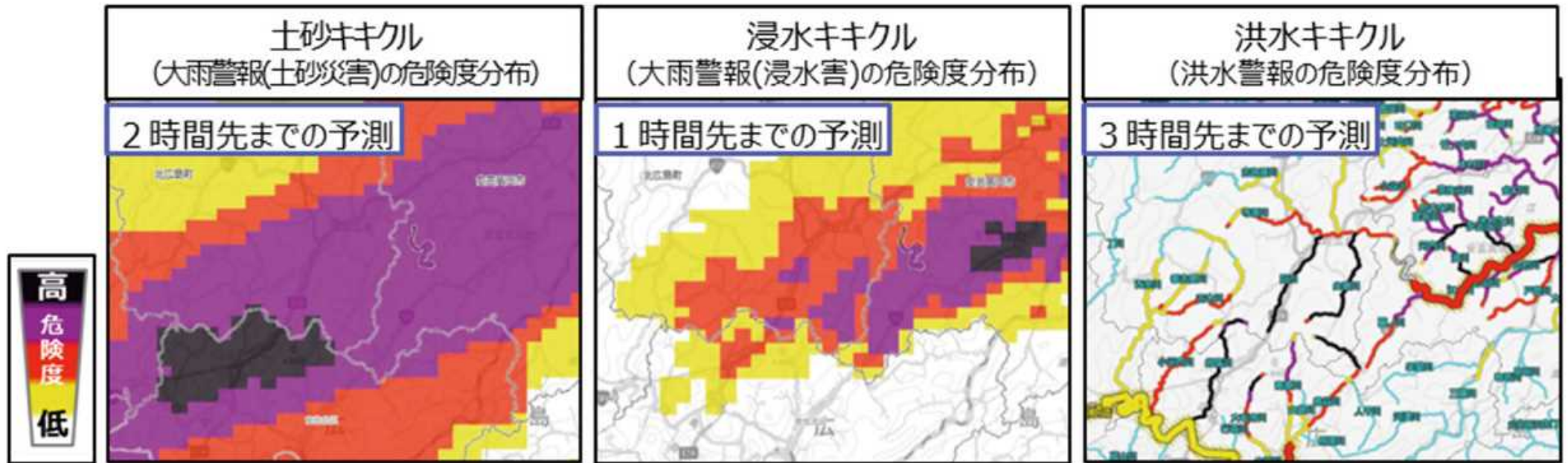
- ・市町村で発表される防災気象情報を分野毎に一つのページで閲覧可能
- ・3種類の危険度分布と雨雲の動きを一つのページで閲覧可能

令和3年2月24日に
HPをリニューアル



避難に役立つ防災気象情報（気象庁）キキクル

大雨による災害発生の高まりを伝えてくれます



20220917水管理・国土保全局、気象庁報道発表資料より

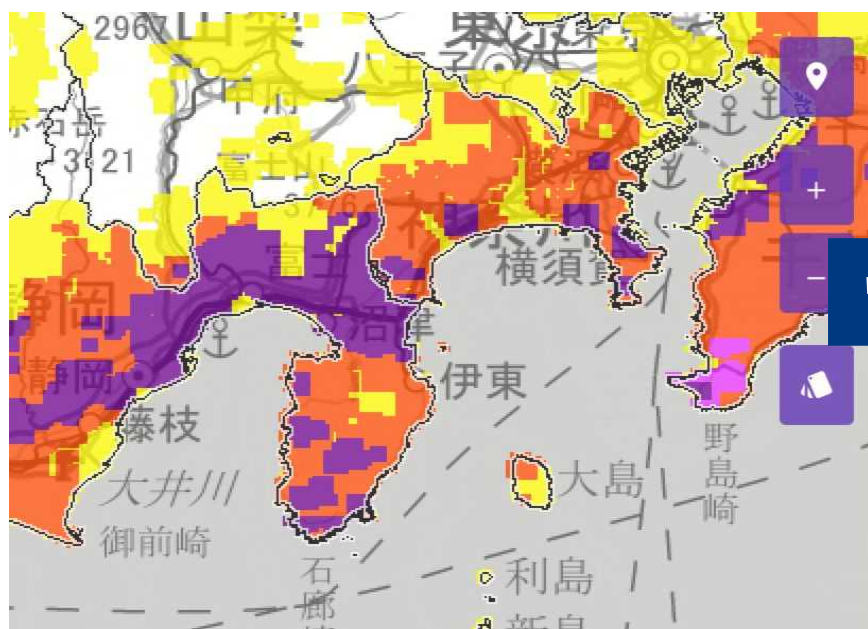


※色の区分は警戒レベルと同じです

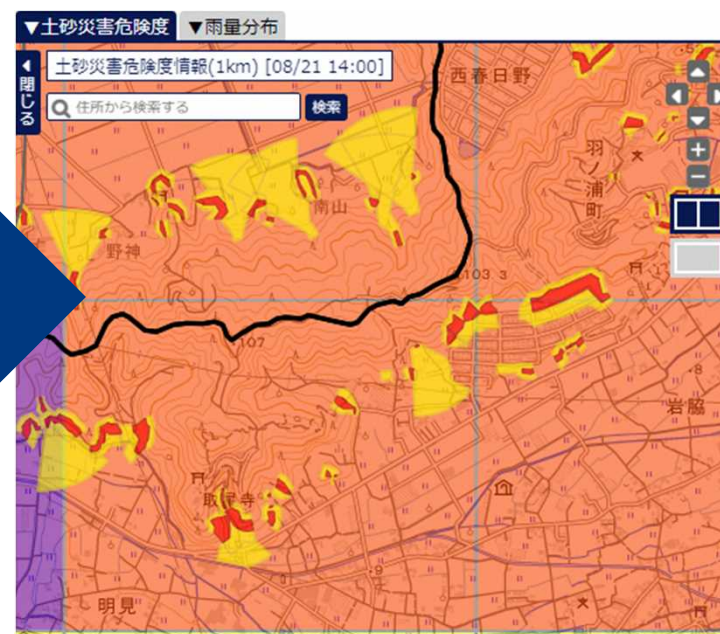
避難に役立つ防災気象情報(気象庁)土砂キキクル

●大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されたら、
必ず確認！

- ・土砂災害発生危険度を**1kmメッシュ毎に5段階に色分け**
- ・避難にかかる時間を考えて**2時間先までの予測値**を採用



大きく



徳島県土砂災害情報システム(徳島県)

●雨量情報メール通知サービス

徳島県に設置されている雨量局やIoT雨量計の雨量基準が登録した基準値以上を観測した場合、電子メールで通知がくるサービス

ゲリラ豪雨だけでなく、梅雨などの長期的な降雨もカバー

雨量情報	メール通知基準値	設定値
10分雨量	メール通知基準値①	5mm
	メール通知基準値②	10mm
	メール通知基準値③	15mm
60分雨量	メール通知基準値④	10mm
	メール通知基準値⑤	20mm
	メール通知基準値⑥	30mm
累計雨量	メール通知基準値⑦	60mm
	メール通知基準値⑧	80mm
	メール通知基準値⑨	100mm

10分雨量 10分毎に観測される雨の量で、短時間に強く降る雨を捉えるのに有効

60分間雨量 直近の60分間に降った雨の量を指します。

累計雨量 降り始めからの累計の雨量で長期間の降雨を捉えるのに有効

土砂災害の前兆現象

前兆現象とは、土石流やがけくずれなどが発生する前に山腹斜面や溪流で見られる兆候のことです。

注意点

- ① **前兆現象を発見したら、すぐ避難**
- ② 土砂災害は、「前兆現象」がなくても起こる場合があるので、雨の降り方がいつもと違うと感じたり、役場から避難情報が出されたら、速やかに避難を！
- ③ 前兆現象を確認するために危険な場所には近づかない。

地すべり



土石流



がけ崩れ



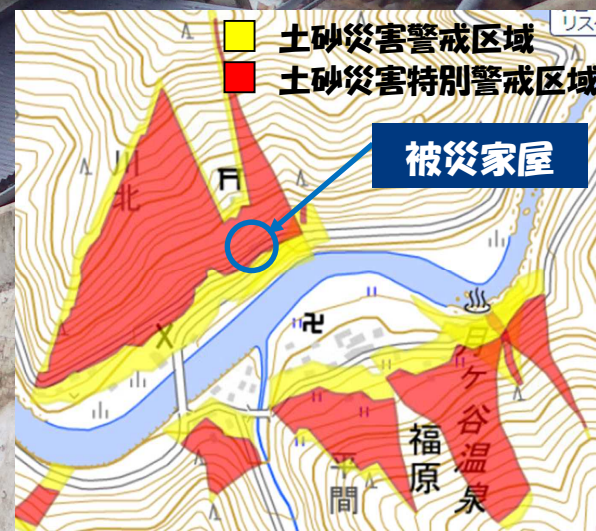
土砂災害の前兆現象は、避難の合図！

令和2年7月14日(水)17時過ぎ、ガケの方から異常音がしたので、親類に連絡したところ、すぐ避難するように促され戸外へ避難。その直後(17:30頃)にがけ崩れが発生

令和2年7月豪雨 上勝町

1階は潰れたが、前兆現象を確認し、すぐ避難したため、命は助かった。

パキパキ



土砂災害の防止に関する防災出前授業 (県内 小・中学校)

地域の次世代を担う子どもたちの防災力向上のため、土砂災害に関するリスクや防災情報、避難行動を実践的に学べるよう、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域内にある小・中学校において、防災出前授業を実施しています。実施にあたり、砂防ボランティア協会の経験豊富な協会員の方々に参加・協力いただきました。

<授業実施状況>

- ・ 令和2年度～5年度
実施校：122校
人 数：3,630人
- ・ 令和6年度
実施校：15校
人 数：586人

令和2～4年度で
土砂災害警戒区域
内、土砂災害特別
警戒区域内にある
すべての小中学校
で授業を実施



<実施内容>

- ・ 土砂災害に関する説明
- ・ 土砂災害の疑似体験（VR動画）
- ・ 語り部動画の視聴
- ・ 土石流実験装置の実演
- ・ ファミリータイムラインの作成
- ・ ハザードマップ演習



土砂災害に関する説明
(由岐小学校)



VR動画の視聴
(佐那河内中学校)



語り部動画の視聴
(三島中学校)



土石流実験装置の実演
(撫養小学校)



ファミリータイムラインの作成
(鳴門西小学校)



ハザードマップ演習
(橘小学校)

土石流実験装置やVR動画の視聴、ファミリータイムラインの作成などの活動を交え、分かりやすく楽しみながら土砂災害について学んでいただきました。授業を受けた生徒は、普段の行動を振り返ったり、ハザードマップで自宅を確認するなど、「自分の命は自分で守る」意識を身につけていただけたと思います。

砂防工事現場における防災学習

～現地学習会を開催しました～
(名東郡佐那河内村・東高森東谷)

令和6年11月8日（金）に、名東郡佐那河内村にある砂防堰堤の工事現場で、防災学習を実施し、村立佐那河内小学校5年生のみなさんに御参加いただきました。

<実施内容>

- ・土砂災害について説明（座学）
- ・土石流模型実験の実演
- ・VR動画の視聴
- ・砂防堰堤の工事について説明（座学）
- ・砂防堰堤の工事現場見学



みんなで記念撮影



土石流模型実験装置の実演



VR動画の視聴



クイズで楽しく学ぼう



施工業者による工事概要説明



参加者からの感想

- ・砂防ダムの役割を知ることができた。（生徒）
- ・砂防ダムを見たことがあったが、今回の学習でどういう役割があるのかわかった。（生徒）
- ・VR動画でがけくずれが起きて家の中に土砂が入ってきてびっくりした。（生徒）
- ・自分たちの身近に自分たちの安全を守ってくれている施設があることを初めて知って驚いた。（教員）
- ・家族に今日あったことを話して、家族で避難できるようにしたい。（生徒）

災害は突然に

「自分の命を自分で守る」ために、最新の
防災情報を入手し、適切な避難行動をとる
ことが大事です。



地震や台風などの災害時に
県公式LINE、すだちくんメール
などで最新情報を発信中!!

「県公式LINE」や「すだちくんメール」など

徳島県の各種情報ツールに

今すぐ登録を!



県公式LINE
LINEで防災情報を
発信中!

「気象警報」や「避難指示」などの防災情報を
プッシュ型で配信します。

設定方法

- ①の防災情報をタップ。
- ②の受信設定(防災)で、受信したい地域(市町村)の防災情報を登録。



- 下記のQRコードから「友だち」追加をお願いします。

徳島県公式ラインアカウントQRコード
<https://page.line.me/803tuwov>



配信内容

※すだちくんメールによる送信内容に準拠。

- ・ 避難情報
高齢者等避難、避難指示
- ・ 気象情報
地震速報、津波速報、
顕著な大雨に関する情報
- ・ 気象警報
大雨注意報を含む
- ・ 土砂災害警戒情報
- ・ 高潮特別警戒水位情報
- ・ 河川水位警戒情報

災害時に
情報は
大事です!



「防災情報」以外にも「県政情報」や「イベントのお知らせ」などを随時配信。メールマガジン「とくめる」や広報誌「OUR徳島」もお届けします。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



徳島県災害時の安否確認サービス すだちくんメール

- 震度5強以上の地震発生時、自動的に安否確認メールを発信。
- 携帯電話・パソコン等から安否入力・確認が可能です。
- 気象警報、地震情報、津波情報を配信します。

¥0

- 無料で登録・利用できます。(通信料は別途必要)
- グループの登録者同士で安否情報を共有できます。



家族



本人



同僚

- インターネット接続可能な端末ならどこでも利用可能です。
- 日常的に利用できる機能が充実しています。
(タイムライン/メッセージ/一斉メール等)

登録方法

すだちくんメールの利用には登録が必要です。
下記のQRコードをスマホ等で読み込み「新規登録」から登録をお願いします。

「すだちくんメール」トップページ
<https://s.ourtokushima.jp>

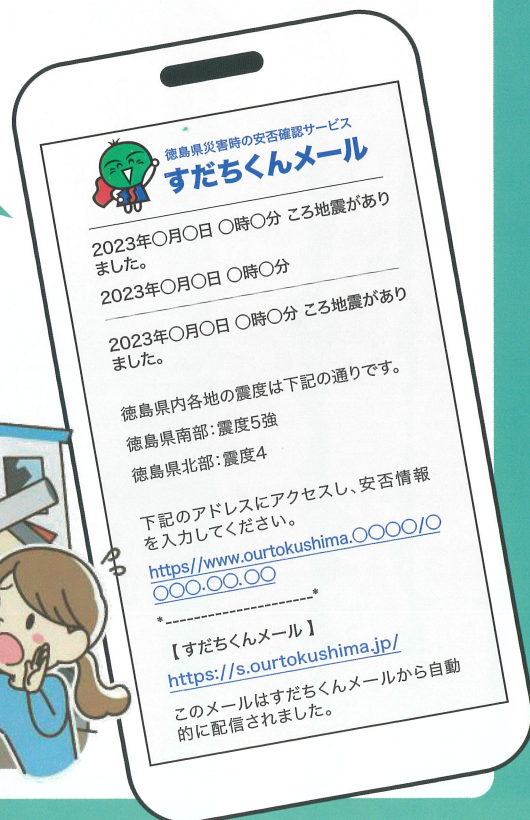
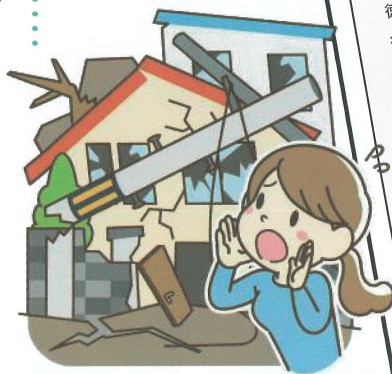


大地震が起きたら、あなたの大切な人はどこにいますか？

家族、友人、社員等の安全を携帯端末、パソコン等から確認できる災害時の安否確認システムです。

安否確認メール

(配信イメージ画像)



防災すだちくん

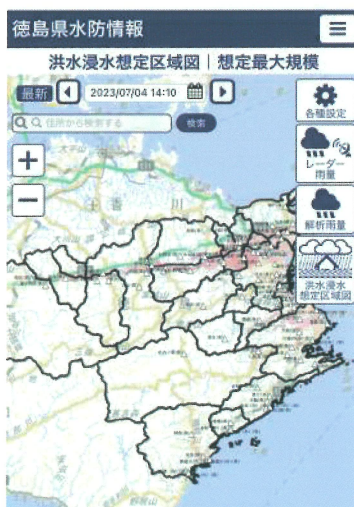
徳島県防災・危機管理情報

安心とくしま

防災情報マップでは、お近くの避難所の情報や、災害時に開設している避難所、道路通行規制の情報が確認できます。

水防情報

気象情報や水防情報、ライフラインの状況など、関係機関が発信する防災情報にアクセスできるリンクも掲載しています。



徳島県防災・危機管理情報「安心とくしま」
<https://anshin.pref.tokushima.jp>



防災情報マップ



「安心とくしま」の防災情報は
Twitter (@saigai01) から発信
しています。



防災関係QRコード

1.徳島県水防砂防情報マップ



平時に確認！

自宅や学校、職場などが土砂災害や水害の危険な場所にあるか確認できます。

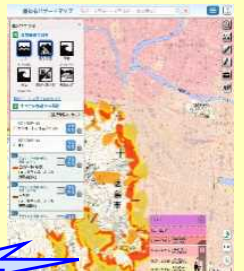
2.徳島県総合地図提供システム



平時に確認！

徳島県から発信する地図の情報を集めたサイトです。災害リスクや最寄りの避難所等を確認できます。

3.国土交通省（重ねるハザードマップ）



平時に確認！

自宅や学校などの洪水や内水、土砂災害、津波等のリスク情報をマップや写真に重ねて見ることができます。

4.国土交通省（浸水ナビ）



平時に確認！

吉野川や那賀川等で堤防が決壊または越水したときの浸水シミュレーションを見ることができます。

5.徳島県安心とくしま



大雨時に確認！

発災時の「緊急災害情報」を確認できます。避難場所や避難所の位置、警報・注意報の発令状況などを地図上で確認できます。

6.徳島県土砂災害情報システム



大雨時に確認！

地域の土砂災害発生の危険度を知ることができます。早めの避難に役立つ情報です。

7.徳島県水防情報



大雨時に確認！

県内の河川の水位情報やダムの放流情報、河川監視カメラの映像を確認をすることができます。

8.徳島県県土防災情報



大雨時に確認！

通行規制の区間や箇所、規制内容、ライブカメラの映像を確認することができます。

9.気象庁（今後の雨）



大雨時に確認！

降水量分布について15時間先までの予報を確認できます。また、線状降水帯の発生状況も確認できます。

防災関係QRコード

10.気象庁(土砂キキクル)



大雨時に確認!

地域の土砂災害発生危険度をすることができます。5段階に色分けして地図上に表示されています。

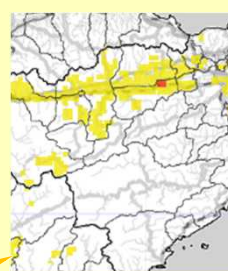
11.気象庁(洪水キキクル)



大雨時に確認!

主要な河川の洪水発生危険度をすることができます。5段階に色分けして地図上に表示されています。

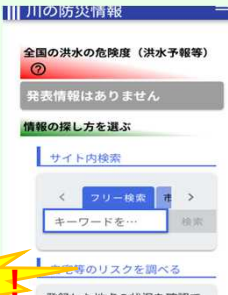
12.気象庁(浸水キキクル)



大雨時に確認!

地域の内水氾濫危険度をすることができます。5段階に色分けして地図上に表示されています。

13.川の防災情報



大雨時に確認!

国土交通省が管理する河川の水位情報やダム情報など様々な河川の防災情報を確認することができます。

14.すだちくんメール



平時に登録を

ご家族を事前にグループ登録しておくことで、震度5以上の地震の際に安否情報の確認ができます。

15.徳島県公式LINE



平時に登録を

気象情報や避難情報等の防災情報のほか県政情報など暮らしに役立つ話題を発信しています。

16.NHKニュース・防災アプリ



平時に登録を

最新ニュースや災害情報をいち早くお届けする防災情報サービスです。

17.Yahoo!防災速報アプリ



平時に登録を

緊急地震速報や津波、避難情報、大雨による災害情報などの配信を行っている防災情報サービスです。

18.au登録エリア災害避難情報メール



平時に登録を

登録した自治体から、緊急速報メール「災害・避難情報」が配信された際に、お知らせするサービスです。

徳島県土砂災害情報システム 雨量情報メール配信サービス

お住いの地域の雨量情報をメールでお知らせ！

- 近年、ゲリラ豪雨（局地的大雨）や台風の接近等に伴う大雨により、土砂災害が多く発生しています。
- 「雨量情報メール配信サービス」は、県内に設置されている雨量計の降雨量が基準値を超過した場合に、スマートフォン・パソコン等に雨量情報をいち早くお知らせします。
- 本サービスに登録いただき、早めの避難行動にお役立てください。

雨量情報メール 配信サービス

差出人：<rain-mail@sabobosai.i-tokushima.jp>

宛先：

CC：

件名：【〇〇雨量局】雨量通知

日時：2022年05月01日(日) 10:17(+0900)

2022/05/01 10:10

累計雨量が 60mm を観測しました。

今後の雨の様子に注意してください

徳島県土砂災害情報システム

<https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp>

スマートフォンなどから簡単に登録できます

今すぐ登録を！

登録方法は裏面に！

裏面の二次元コードもしくは、「徳島県雨量情報メール配信サービス」で検索！

無料で登録できますので、ぜひご利用ください。



【配信される情報】

10分雨量	短時間に強く降る雨の量を把握する際に参考となります。 配信メールが届いた場合、雨雲の動きを確認するきっかけとする等、早期避難の参考情報としてご利用ください。
60分雨量	雨の降り方や今後起こり得る影響等について、把握する際の参考となります。 配信メールが届いた場合、気象情報や注意報・警報等を確認するきっかけとする等、早期避難の参考情報としてご利用ください。
累計雨量	長期的な雨で、地盤の緩みや河川が増水する状況等について、把握する際の参考となります。 配信メールが届いた場合、周辺の情報（土砂・洪水の警戒区域や裏山、がけ、河川等）を確認するきっかけとする等、早期避難の参考情報としてご利用ください。

※登録時に希望する雨量計の基準値を3段階から選択できます。

雨量情報メール配信サービス登録方法

登録用アドレス

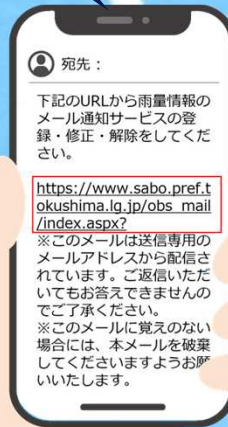
regist@sabobosai.
i-tokushima.jp



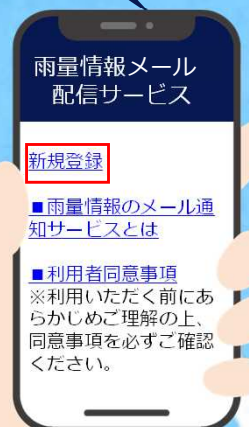
01 登録用アドレスに
空メールを送信



02 返信メールの
URLをクリック

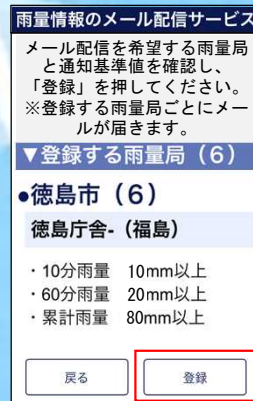
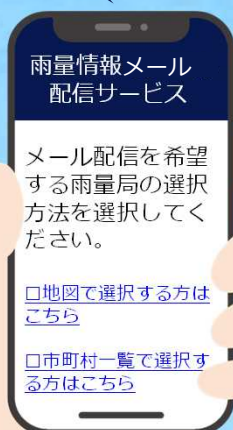


03 新規登録をタップ

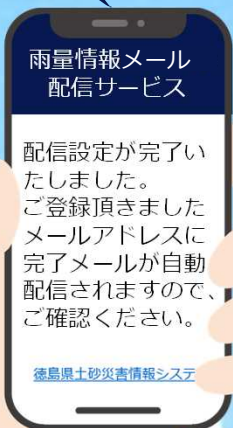


地図から選択

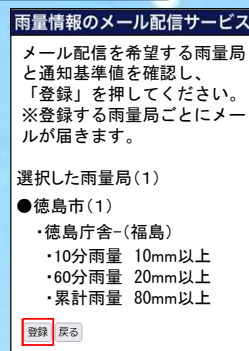
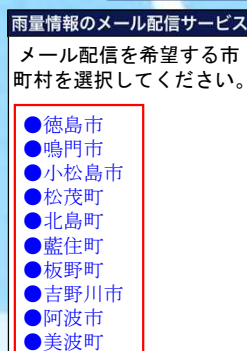
04 配信を希望する
雨量局を選択



05 配信設定完了



市町村一覧から選択



利用にあたっての注意事項

免責事項

配信した情報によって利用者又は第三者が被ったいかなる損失・損害について、一切の責任を負いません。本メールは、システムの障害、メンテナンス、ネットワークの混雑状況等によって、利用者に事前に通知することなく遅延が生じたり配信されない場合があります。また、観測装置の故障等で異常値がそのまま誤配信される可能性があります。

利用料金

本メールは無料でご利用いただけますが、メール送受信等のパケット通信料は利用者の負担になります。通信料は携帯電話会社との契約内容によって異なります。

個人情報の保護

登録されたメールアドレスは、徳島県個人情報保護条例に基づき管理保管し、雨量情報メール配信サービスのみに利用し、それ以外の目的には使用しません。登録情報の開示及び第三者への提供は行いません。（法令に基づく開示要請（例えば警察からの捜査協力等）があった場合を除く。）

登録の解除

利用者のメールアドレスの変更やメールボックスが一杯になる等によりメール送信が不可能となった場合は、自動的に配信を停止します。

内容変更

本サービスは予告なく内容の変更、削除をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。



想定以上の



想定を

もしもに備えて
確認を!



命を守る
安全経路

早めの避難で



守る命

ま

ず

ひ

な

ん

命

を

守

ろう

う



深い穴に
気をつけて



先人の知恵を
もう一度



川の
はんらん



みんなで防げ

水害から身を守る



わたしの町

みんなで守ろう



危ないぞ
川のように
見に行くな!



徳島の

洪水遺産

水防竹林

堤防建設が難しかった時代、洪水被害を軽減するため河岸に整備された「水防竹林」。植えられた竹は、洪水や土石の勢いを和らげる水防の役割だけでなく、肥沃な土砂の供給のほか、傘やかごの材料としての役割も果たしていた。

三好市から美馬市あたりまでが連続的によく残っている。



三好市太刀野付近の水防竹林

吊り舟



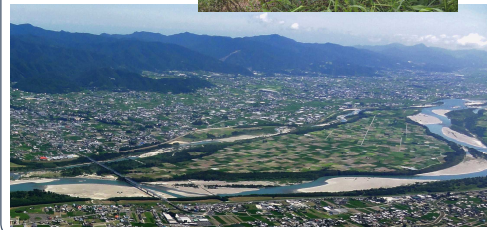
阿波市市場町 八幡神社の吊り舟

洪水時には避難や救助などに使用され、普段は屋敷や神社の軒下に吊り下げられている「吊り舟」。

田中家住宅のように藍商人が個人で所有した物や、八幡神社(市場町)のように地区所有の物がある。

善入寺島

吉野川第一期改修工事により遊水地化された、全長6kmにも及ぶ吉野川の川中島「善入寺島」。かつては約3000人が住んでおり、小学校跡など今も生活の跡を見ることができる。



万代堤と水剣岩

天明7年(1787年)に大規模な水害が那賀川を襲い、大きな被害があったため建設された大規模な堤防が「万代堤」。

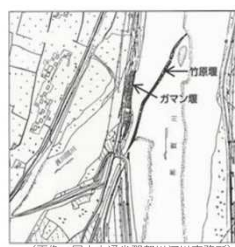
そんな万代堤も洪水のたびに損傷していたため、万代堤への水の勢いを弱めようと山の上から落とし入れた大岩が「古毛の水剣岩」。



ガマン堰

那賀川右岸に構築された越流堤「ガマン堰」。洪水のたびに「ガマンせい」と慰め合い、補修工事では重労働を我慢したことからこの名がついたと伝えられる。

現在は堤防により締め切られている。



(画像：国土交通省那賀川河川事務所)



印石

堤防の高さを上げると対岸や上下流の危険性が高まることから、過去には地域間での争いが絶えなかったため、堤防の高さを定め、争いを防いだ「印石」。

石井町の産神社のほか、鳴門市湊ヶ上堤防、藍住町の矢上川(正法寺川)などに残っている。



湊ヶ上堤防の印石

産神社の印石

蔵珠院の洪水痕跡

阿波藩時代の大洪水「寅の水」(1866年)の洪水痕跡と被害の記録が今も残る「蔵珠院の洪水痕跡」。

茶室の壁に洪水の水位が残っており、道路沿いの標柱に同じ高さを表す線が刻まれている。

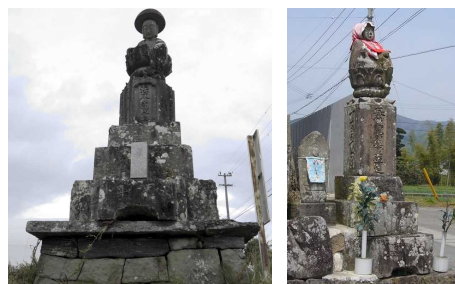
また、過去帳には当時の被害の様子も記録されている。



壁に残る痕跡

痕跡の高さを表す標柱

高地蔵



国府町東黒田の高地蔵

舞中島の高地蔵

度々洪水に見舞われていたお地蔵様を人びとが申し訳なく思い、水没しないように台座を高くした「高地蔵」。

吉野川下流部に多く残されており、一番高い物は全高4mを超える。



高石垣と城構えの家

洪水の被害を受けにくくするため、石垣を高く築き地盤を上げた「高石垣」とその地盤の上に築いたお屋敷がお城に見える「城構えの家」。藍商人などが築き、集落の避難の場や洪水時の拠点の役割もあった。



田中家住宅(城構えの家)



舞中島の高石垣

掻き寄せ堤

明治時代に連続堤防ができるまで洪水を防いでいた、周辺の土や川砂利を掻き寄せて作られた「掻き寄せ堤」。

徳島市の蓬庵堤やつるぎ町の藤森堤など各地に残る。



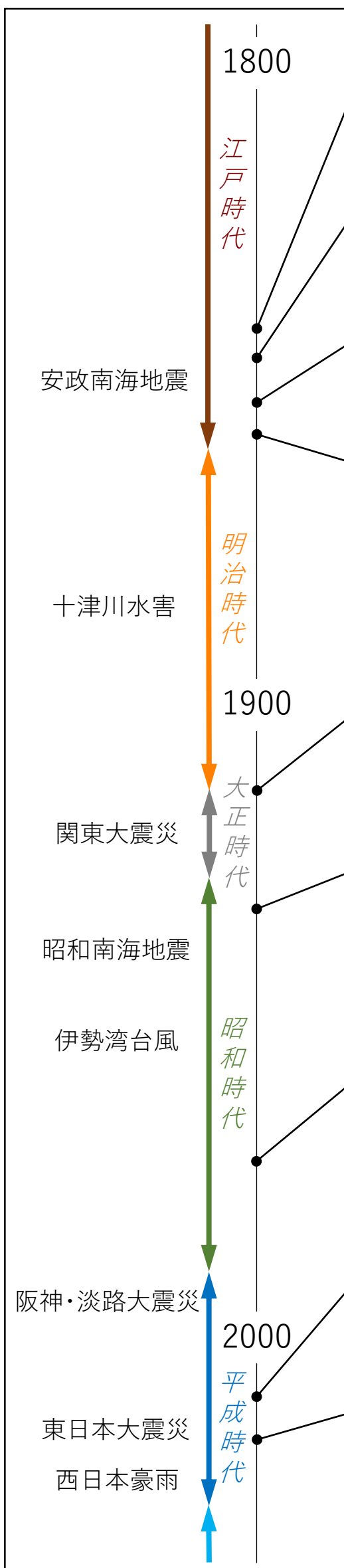
藤森堤(手前)



蓬庵堤(現在は道路が走る)

徳島の 水害の歴史

全国の災害



1843年(天保14年)

七夕水

旧暦7月7日に起こった洪水。勝浦川の堤防が決壊し、徳島市西須賀町で数十日の間冠水。小松島市田浦町で家屋流出数15戸、死者・行方不明者約50人。

1849年(嘉永2年)

酉の水

酉年に起こった洪水。吉野川が氾濫し徳島城下一帯が浸水。旧吉野川の堤防が決壊し、鳴門市大麻町で浸水深約2.1m、吉野川市山川町でも川田堤防決壊により死者250人。

1857年(安政4年)

八朔水

旧暦8月1日に起こった洪水。八月朔日(月の最初の日)に起こったためこの名がついた。吉野川が増水。旧吉野川堤防の決壊により鳴門市大麻町で浸水。鈴江堤防の決壊により徳島市川内町で家屋350戸が倒壊。

1866年(慶応2年)

寅の水

寅年に起こった洪水。吉野川・那賀川・園瀬川・勝浦川などが氾濫。蜂須賀氏が阿波藩主になって以降もっとも大きな洪水と言われる。阿波国中で3万7020人が溺れたとの記録が残っている。

1911年(明治44年)

土佐水

徳島県では小雨であったが、吉野川上流域の高知県で大雨が降ったため起こったことが名前の由来。このような洪水はたびたび起こっており、この時は死者・行方不明者27名を出す大災害となった。

1934年(昭和9年)

室戸台風

風台風であったが、徳島県では高潮により2万3158戸が水没し、4272戸が全半壊・流出した。死者・行方不明者39名。

1976年(昭和51年)

台風17号

山間部で6日間にわたる大雨が降り続き、洪水が長引く。吉野川では無堤地区の氾濫をはじめ下流部支派川が内水氾濫を起こし、那賀川でも5回に渡り通算45時間警戒水位を上回った。死者10人、家屋全壊・流失187戸、浸水2万155戸。

2004年(平成16年)

台風23号

吉野川の岩津地点で流量1万6400m³/sを記録した。県下の広い範囲で浸水被害が発生し、家屋146戸が全半壊、4525戸が浸水した。

2014年(平成26年)

台風11号

台風12号

前線の停滞に加え台風11号と台風12号が相次いで上陸。太平洋側で強い雨が長期間にわたって降り続き、那賀川で戦後最大流量9500m³/sを記録し、県下で2507戸が浸水した。